

三番瀬地区アサリ青潮被害調査結果の概要

(H26.9.25 青潮被害結果報告会資料より抜粋)

平成26年8月27日から9月3日にかけて三番瀬に波及した青潮による被害状況調査を、関係漁協と県が協力して実施した結果と青潮の波及状況の取りまとめ結果です。

表1 アサリの推定死亡量

場 所	漁業権免許番号	漁協名	青潮前		減少率 (%)
			資源量 (t)	死亡量 (t)	
市川航路 西側	共第1号	市川市行徳	690	140	20
	短共第2号		2,070	1,090	53
	短共第3号		3,350	2,650	79
市川航路 東側		船橋市			
計			6,110	3,880	64

1. 被害状況

- アサリ資源の減少率は、市川航路西側の行徳漁協の漁場（共第1号）では20%、船橋漁場（短共第2号）では約50%、市川航路東側の船橋漁場（短共第3号）では約80%であり、東側や岸側で大きな被害を受けた。（表1、裏面図2）
- 調査した全域のアサリの推定死亡量は3,880tで、減少率は64%であった。
- ホンピノスガイの被害は、ほとんど確認されなかった。

2. 被害対策等について

- 早期のアサリ漁業の再開を図るため、沖合の漁場に比較的多く生き残ったアサリ小型貝（裏面図3）を被害を受けた漁場に移植し、アサリ漁場の早期回復を図る（水産多面的機能発揮対策事業）。
- 被害の大きかった船橋漁協では、当面、ホンピノスガイの操業を行う。

*：水産多面的機能発揮対策事業

干潟機能の保全等水産業が持つ多面的機能を発揮するため、漁業者等が行う活動に対し助成を行う。

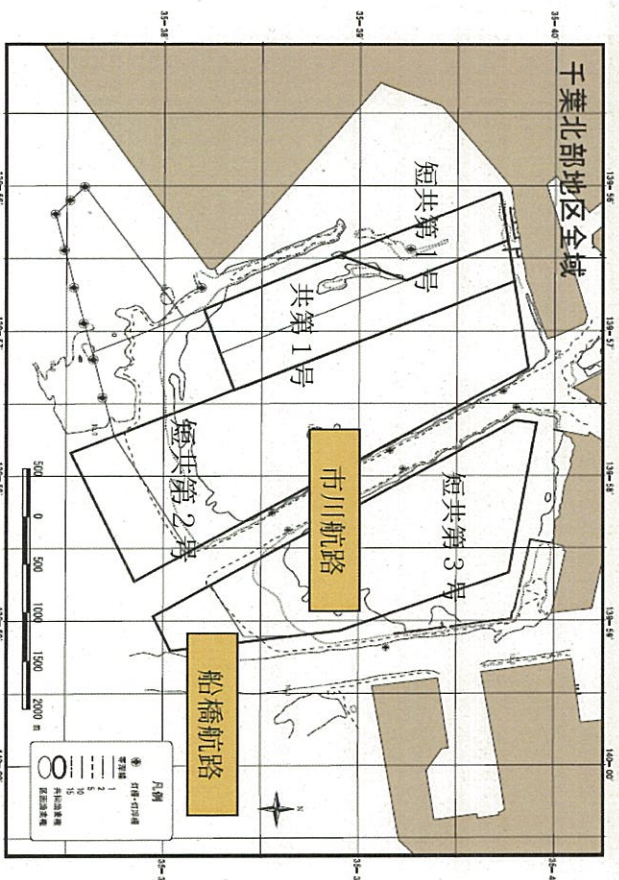


図1 三番瀬漁場図

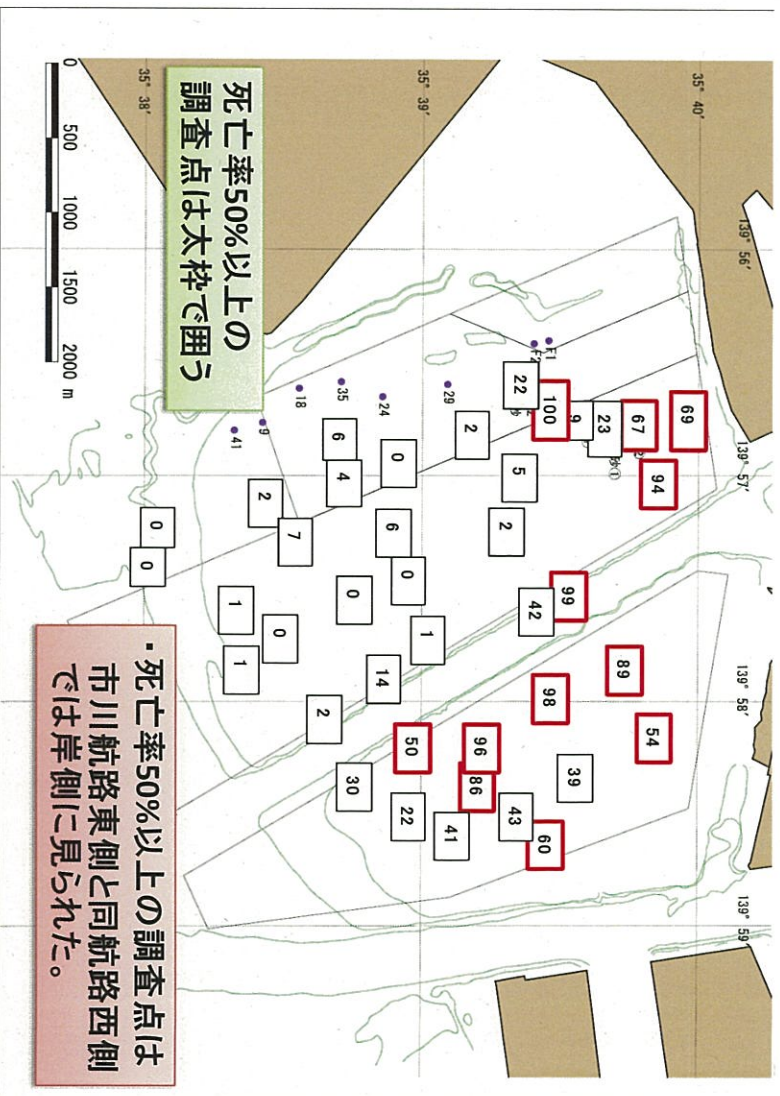


図2 アサリの死亡率 (全殻長)

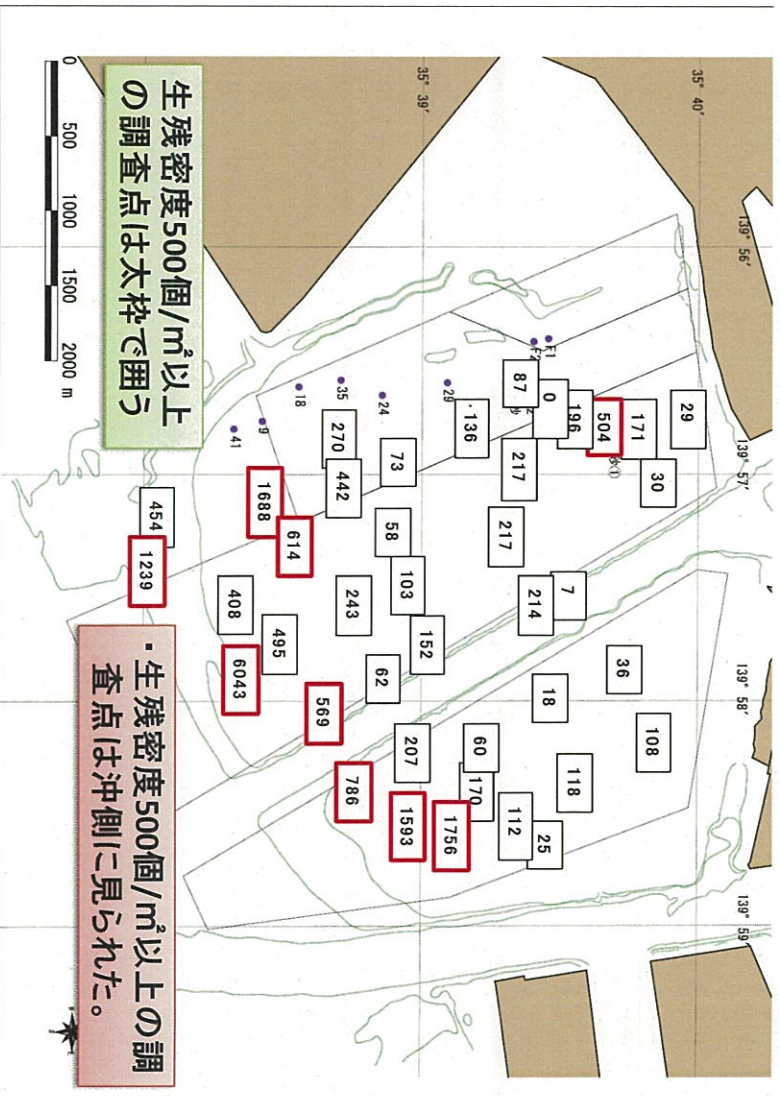
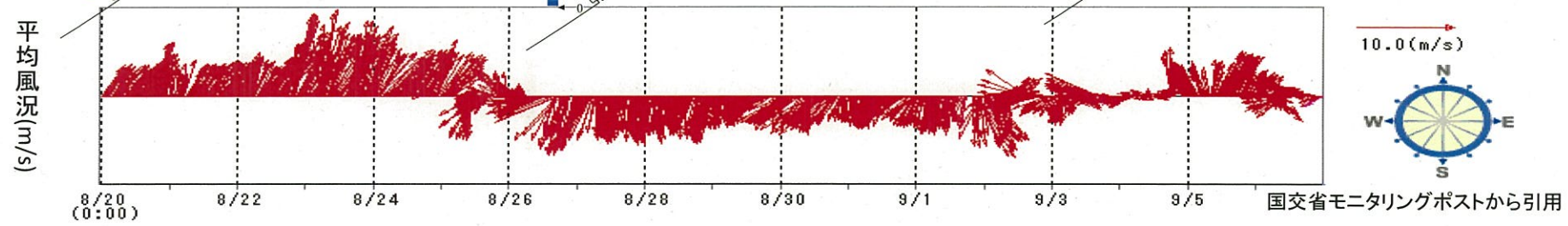
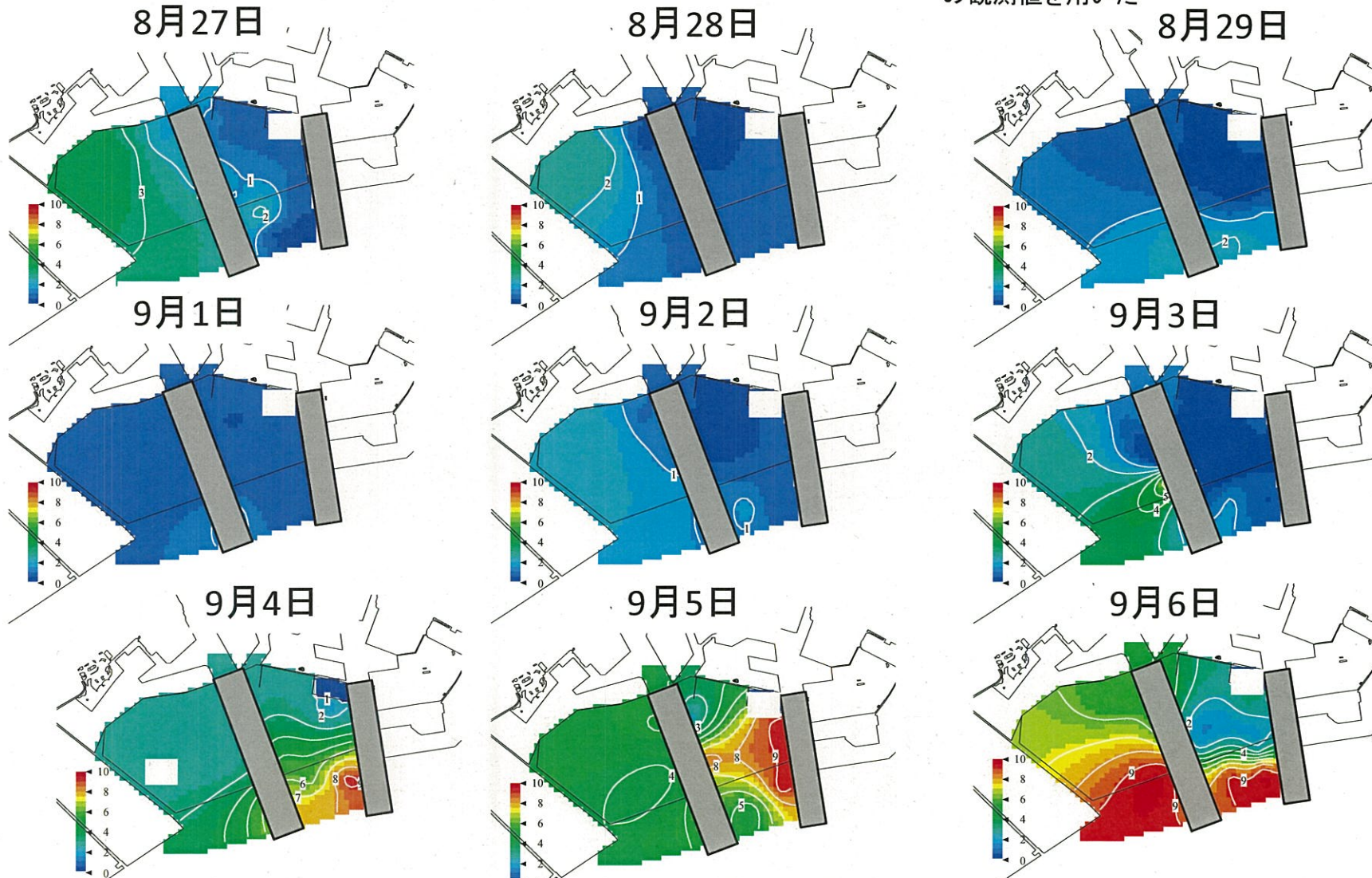


図3 アサリの生残密度 (全殻長)

船橋漁協による観測結果 底層のDO分布図(単位はmL/L)

※船橋・市川の両航路の観測点は表層から2mの観測値を用いた



貧酸素水塊の分布状況

平成26年8月25日～26日の観測結果

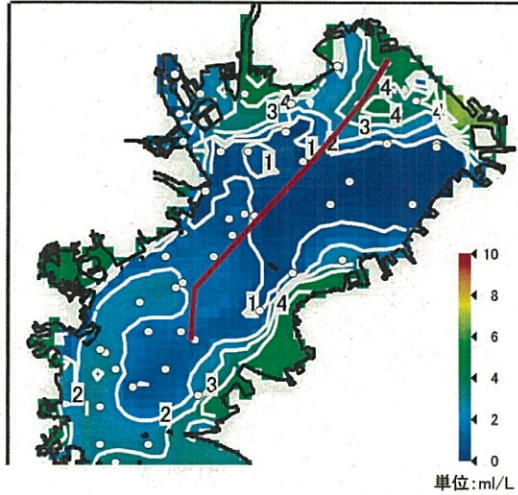


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

平成26年9月1日の観測結果

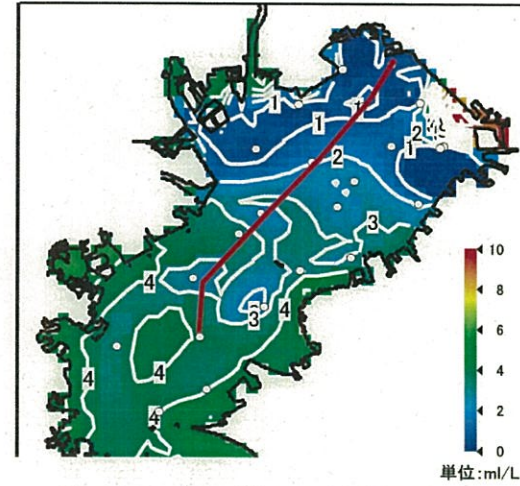


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

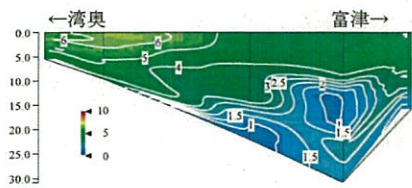


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

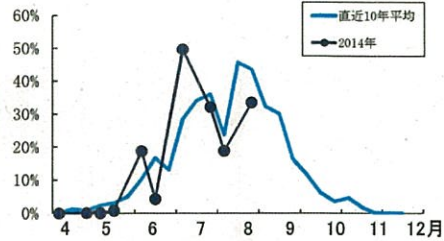


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)



図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

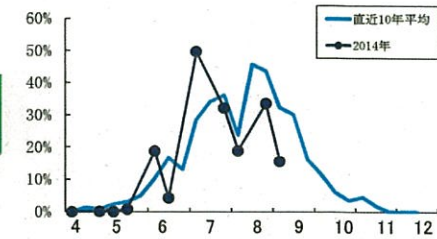


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)

千葉県水産総合研究センター貧酸素水塊速報(2014年)から抜粋

貧酸素水塊分布予測システムによる推定結果 底層のDO分布図(単位はmL/L)

